

IV 特別調査結果の概要（事業所規模1～4人）

1 概況

令和3年7月に調査した常用労働者数1～4人の事業所の給与、労働時間及び雇用の概況は、次のとおりである。

(1) 一人平均定期給与額（7月分）は198,322円で、令和元年より3,751円増となった。

また、特別給与（令和2年8月1日～令和3年7月31日）は260,674円で、令和元年より39,974円増となった。

(2) 一日の実労働時間は7.2時間で、令和元年より0.2時間増となった。

また、一人平均出勤日数（7月分）は20.8日で、令和元年より0.4日減となった。

(3) 常用労働者数（7月分）は17,183人で、令和元年より1,131人増となった。

表IV-1 令和3年毎月勤労統計調査特別調査結果の概要（事業所規模1～4人）

区 分	青 森 県		全 国		水 準 (全国=100)
	実 数	2年前差	実 数	2年前差	
1 給 与					
定期給与	198,322 円	3,751 円	199,902 円	2,706 円	99.2
特別給与	260,674 円	39,974 円	253,157 円	5,523 円	103.0
2 労働時間数及び出勤日数					
一日の労働時間数	7.2 時間	0.2 時間	6.8 時間	△ 0.1 時間	
出勤日数	20.8 日	△ 0.4 日	19.3 日	△ 0.5 日	
3 雇 用					
労働者数	17,183 人	1,131 人	1,670 千人	△ 17 千人	

注) ①この特別調査では、指数を基にした前年比を算出していないため、前年差を記載しているが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の拡大により特別調査が中止となったため、令和3年の特別調査では、令和元年の結果と比較した増減である「2年前差」を掲載している。

②特別給与は、令和2年8月1日から令和3年7月31日までの1年間に特別に支払われた給与であり、単純に定期給与（令和3年7月分）と合わせて現金給与総額とはならない。

2 給 与

(1) 定期給与

定期給与額は、調査産業計では 198,322 円で、令和元年より 3,751 円増（全国は 199,902 円、令和元年より 2,706 円増）となった。全国平均を 100 とした場合、全国対比は 99.2 となった。

産業別にみると、学術研究, 専門・技術サービス業が 239,780 円（全国対比 104.6）と最も高かったほか、次いで製造業が 239,769 円（全国対比 116.8）と高かった。

また、宿泊業, 飲食サービス業が 103,322 円（全国対比 88.6）と最も低かったほか、次いで生活関連サービス業, 娯楽業が 145,133 円（全国対比 95.3）と低かった。

(2) 特別給与

特別給与額は、調査産業計では 260,674 円で、令和元年より 39,974 円増（全国は 253,157 円、令和元年より 5,523 円増）、全国対比は 103.0 となった。

産業別にみると、サービス業(他に分類されないもの)が 397,207 円(全国対比 116.7)と最も高かったほか、次いで医療, 福祉が 396,459 円（全国対比 148.7）と高かった。

また、宿泊業, 飲食サービス業が 16,099 円（全国対比 35.9）と最も低かったほか、次いで生活関連サービス業, 娯楽業が 16,514 円（全国対比 28.3）と低かった。

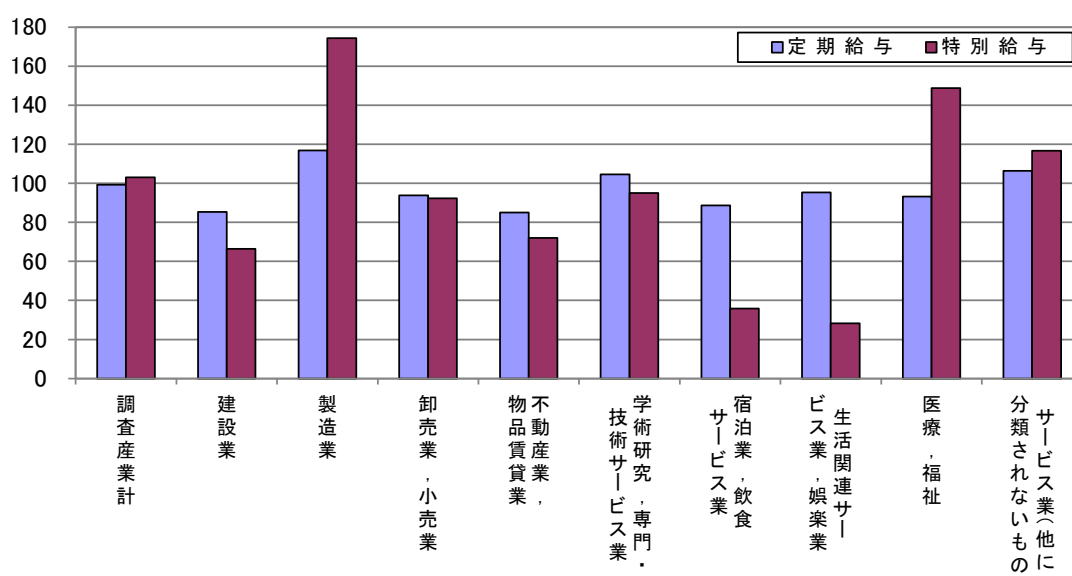
表IV-2 給与額の推移(事業所規模1~4人、調査産業計)

年	定期給与		特別給与		賃金水準(全国=100)	
	青森県	全 国	青森県	全 国	定期給与	特別給与
	円	円	円	円		
平成25年	172,562	190,474	164,191	201,806	90.6	81.4
平成26年	173,919	192,120	174,886	208,488	90.5	83.9
平成27年	178,579	191,269	194,372	216,965	93.4	89.6
平成28年	175,519	195,701	234,497	227,206	89.7	103.2
平成29年	171,679	196,363	185,207	227,457	87.4	81.4
平成30年	168,684	195,476	184,495	235,684	86.3	78.3
令和 元年	194,571	197,196	220,700	247,634	98.7	89.1
令和 2年	—	—	—	—	—	—
令和 3年	198,322	199,902	260,674	253,157	99.2	103.0

表IV-3 産業別給与の比較(事業所規模1～4人)

区 分	定期 給 与		全国 =100	特 別 給 与		全国 =100
	青 森 県	全 国		青 森 県	全 国	
	円	円		円	円	
調 査 産 業 計	198,322	199,902	99.2	260,674	253,157	103.0
建 設 業	222,781	261,162	85.3	201,690	303,625	66.4
製 造 業	239,769	205,209	116.8	336,090	192,791	174.3
卸 売 業 , 小 売 業	190,946	203,670	93.8	230,835	250,157	92.3
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	186,339	218,953	85.1	211,183	293,303	72.0
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	239,780	229,240	104.6	360,103	378,618	95.1
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	103,322	116,563	88.6	16,099	44,848	35.9
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	145,133	152,240	95.3	16,514	58,294	28.3
医 療 , 福 祉	175,247	187,991	93.2	396,459	266,666	148.7
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	226,917	213,287	106.4	397,207	340,447	116.7

図IV-1 産業別給与の全国対比 (全国=100、事業所規模1～4人)



(3) 男女別給与

定期給与額は、調査産業計では、男性は239,515円で、令和元年(255,658円)より16,143円減となり、女性は153,277円で、令和元年(144,065円)より9,212円増となった。男性比は64.0で、令和元年(56.4)から7.6ポイント増となった(全国は男性比56.5で令和元年(53.9)から2.6ポイント増)。

産業別にみると、男性は、学術研究、専門・技術サービス業が287,914円で最も高かったほか、次いで製造業が251,563円と高かった。女性は、製造業が223,505円(男性比88.8、全国51.6)と最も高かったほか、次いで学術研究、専門・技術サービス業が208,379円(男性比72.4、全国62.2)と高かった。

また、男性は、宿泊業、飲食サービス業が 172,721 円で最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が 183,267 円と低く、女性は、宿泊業、飲食サービス業が 84,135 円（男性比 48.7、全国 49.4）で最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が 133,099 円（男性比 72.6、全国 63.0）と低かった。

男性比が最も大きい産業は、製造業が 88.8（全国 51.6）で、次いで医療、福祉が 76.8（全国 71.4）となった。男性比が最も小さい産業は、宿泊業、飲食サービス業が 48.7（全国 49.4）で、次いで建設業が 62.0（全国 54.9）となった。

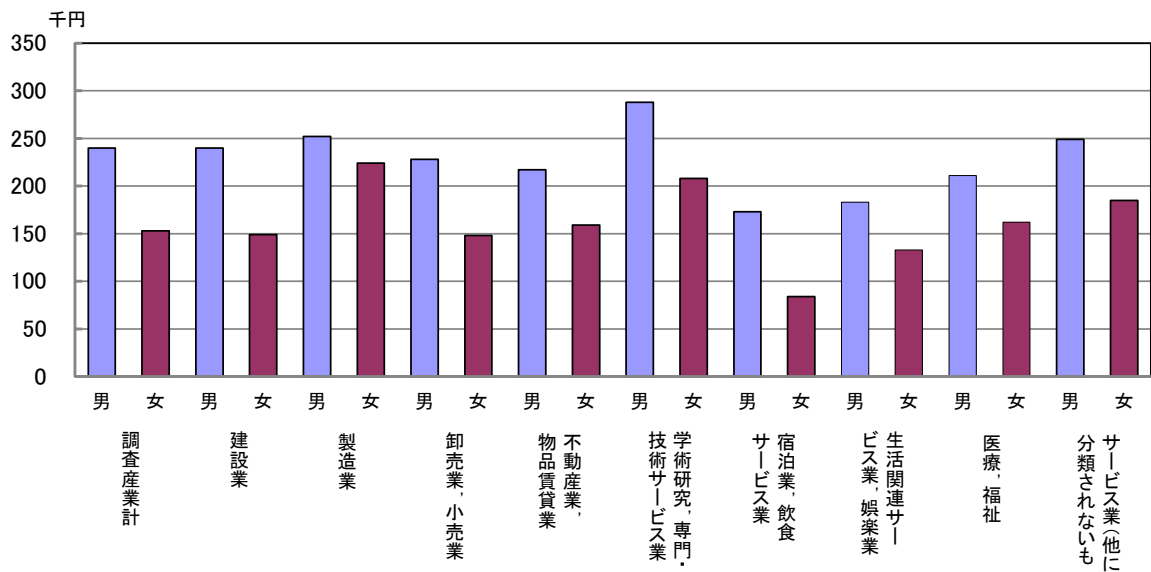
表IV-4 産業別・男女別給与(事業所規模1～4人:青森県)

区 分	定 期 給 与		女性の 水準 (男=100)	特 別 給 与		女性の 水準 (男=100)
	男	女		男	女	
	円	円		円	円	
調 査 産 業 計	239,515	153,277	64.0	308,654	206,944	67.0
建 設 業	240,311	149,112	62.0	220,544	121,793	55.2
製 造 業	251,563	223,505	88.8	248,618	448,287	180.3
卸 売 業 , 小 売 業	228,322	147,931	64.8	298,238	152,181	51.0
不 動 産 業 , 物 品 質 貸 業	217,289	158,837	73.1	303,179	129,432	42.7
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	287,914	208,379	72.4	403,259	331,950	82.3
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	172,721	84,135	48.7	15,754	16,187	102.7
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	183,267	133,099	72.6	14,591	17,200	117.9
医 療 , 福 祉	211,138	162,140	76.8	489,472	355,064	72.5
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	249,296	185,383	74.4	375,469	437,678	116.6

表IV-5 産業別・男女別給与(事業所規模1～4人:全国)

区 分	定 期 給 与		女性の 水準 (男=100)	特 別 給 与		女性の 水準 (男=100)
	男	女		男	女	
	円	円		円	円	
調 査 産 業 計	266,369	150,600	56.5	361,564	170,831	47.2
建 設 業	295,669	162,340	54.9	353,104	160,482	45.4
製 造 業	258,491	133,405	51.6	257,677	104,960	40.7
卸 売 業 , 小 売 業	271,972	154,811	56.9	385,947	149,902	38.8
不 動 産 業 , 物 品 質 貸 業	261,339	175,308	67.1	384,638	199,825	52.0
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	299,808	186,405	62.2	516,180	292,890	56.7
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	180,128	89,053	49.4	59,065	38,532	65.2
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	215,222	135,618	63.0	99,029	47,612	48.1
医 療 , 福 祉	247,479	176,771	71.4	316,719	257,224	81.2
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	258,095	156,790	60.7	396,323	271,042	68.4

図IV-2 産業別・男女別定期給与額の比較（事業所規模1～4人：青森県）



3 労働時間と出勤日数

(1) 労働時間

一日の実労働時間数は、調査産業計では7.2時間、令和元年より0.2時間増となり、全国の6.8時間より0.4時間長かった。

産業別では、製造業、不動産業、物品賃貸業が7.8時間（全国はいずれも6.9時間）と最も長かったほか、次いでサービス業（他に分類されないもの）が7.6時間（全国7.0時間）と長かった。

また、宿泊業、飲食サービス業が5.7時間（全国5.7時間）と最も短かったほか、次いで、生活関連サービス業、娯楽業が6.8時間（全国6.7時間）と短かった。

(2) 出勤日数

出勤日数は、調査産業計では20.8日、令和元年より0.4日減となり、全国の19.3日より1.5日多かった。

産業別にみると、製造業が22.3日（全国19.5日）と最も多かったほか、次いで建設業が21.7日（全国20.9日）と多かった。

また、医療、福祉が19.3日（全国19.0日）と最も少なかったほか、宿泊業、飲食サービス業が19.4日（全国は17.4日）と少なかった。

表Ⅳ-6 実労働時間数及び出勤日数の推移(事業所規模1～4人、調査産業計)

年	実労働時間数			出勤日数		
	青森県	全 国	青森-全国	青森県	全 国	青森-全国
	時間	時間	時間	日	日	日
平成25年	7.2	7.1	0.1	22.1	20.7	1.4
平成26年	7.1	7.1	0.0	21.9	20.7	1.2
平成27年	7.2	7.0	0.2	21.8	20.4	1.4
平成28年	7.1	7.0	0.1	21.1	20.2	0.9
平成29年	7.2	7.0	0.2	21.9	20.1	1.8
平成30年	7.1	7.0	0.1	21.1	19.9	1.2
令和元年	7.0	6.9	0.1	21.2	19.8	1.4
令和2年	—	—	—	—	—	—
令和3年	7.2	6.8	0.4	20.8	19.3	1.5

表Ⅳ-7 産業別実労働時間数及び出勤日数の全国対比(事業所規模1～4人)

区 分	実労働時間数			出勤日数		
	青森県	全 国	青森-全国	青森県	全 国	青森-全国
	時間	時間	時間	日	日	日
調 査 産 業 計	7.2	6.8	0.4	20.8	19.3	1.5
建 設 業	7.4	7.4	0.0	21.7	20.9	0.8
製 造 業	7.8	6.9	0.9	22.3	19.5	2.8
卸 売 業 , 小 売 業	7.3	7.0	0.3	21.5	20.0	1.5
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	7.8	6.9	0.9	21.0	19.3	1.7
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	7.0	7.1	△ 0.1	19.8	18.7	1.1
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	5.7	5.7	0.0	19.4	17.4	2.0
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	6.8	6.7	0.1	20.7	18.8	1.9
医 療 , 福 祉	7.0	6.6	0.4	19.3	19.0	0.3
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	7.6	7.0	0.6	21.0	19.9	1.1

4 常用労働者の動き

常用労働者数は、調査産業計では17,183人(男8,976人、女8,208人)で、令和元年(16,052人)より1,131人増となった。

産業別では、卸売業、小売業が4,660人(全産業に占める割合27.1%、全国25.7%)と最も多かったほか、次いで建設業が3,310人(同19.3%、全国11.3%)と多かった。

また、製造業が416人(同2.4%、全国7.4%)と最も少なかったほか、次いで不動産業、物品賃貸業が614人(同3.6%、全国4.4%)と少なかった。

男女別構成比をみると、男性の占める割合が最も高い産業は、建設業が80.8%(全国74.1%)で、次いでサービス業(他に分類されないもの)が65.0%(全国56.2%)と高かった。

また、女性の占める割合が最も高い産業は、宿泊業、飲食サービス業が78.3%(全国69.7%)で、次いで生活関連サービス業、娯楽業が76.0%(全国78.8%)と高かった。

表IV-8 常用労働者数の推移(事業所規模1~4人:青森県)

区分	平成24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年
常用労働者数(人)	23,013	24,267	23,775	23,402	22,725	18,939	19,794	16,052	—	17,183
対前年増減数(人)	3,609	1,254	△ 492	△ 373	△ 677	△ 3,786	855	△ 3,742	—	—
対前年増減率(%)	18.6	5.4	△ 2.0	△ 1.6	△ 2.9	△ 16.7	4.5	△ 18.9	—	—

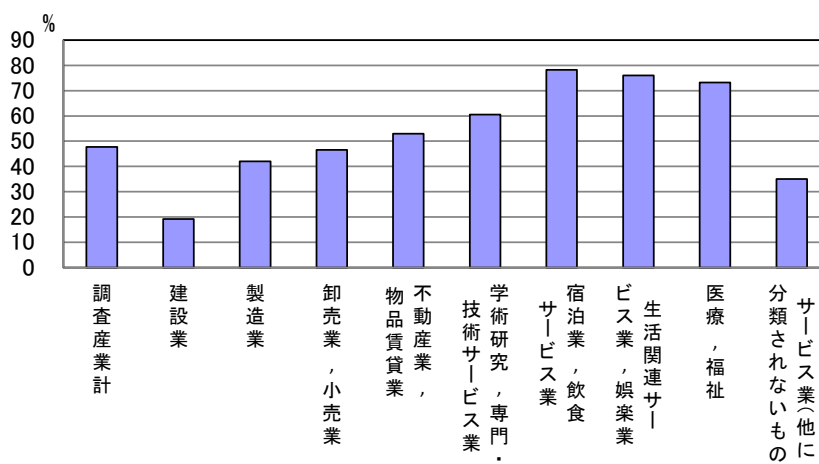
表IV-9 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模1~4人:青森県)

区分	常用労働者数(人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調査産業計	17,183	8,976	8,208	100.0	100.0	100.0	52.2	47.8
建設業	3,310	2,673	636	19.3	29.8	7.7	80.8	19.2
製造業	416	241	175	2.4	2.7	2.1	57.9	42.1
卸売業,小売業	4,660	2,493	2,167	27.1	27.8	26.4	53.5	46.5
不動産業,物品賃貸業	614	289	325	3.6	3.2	4.0	47.1	52.9
学術研究,専門・技術サービス業	1,493	589	903	8.7	6.6	11.0	39.5	60.5
宿泊業,飲食サービス業	1,082	234	847	6.3	2.6	10.3	21.6	78.3
生活関連サービス業,娯楽業	967	232	735	5.6	2.6	9.0	24.0	76.0
医療,福祉	1,489	398	1,091	8.7	4.4	13.3	26.7	73.3
サービス業(他に分類されないもの)	1,854	1,205	649	10.8	13.4	7.9	65.0	35.0

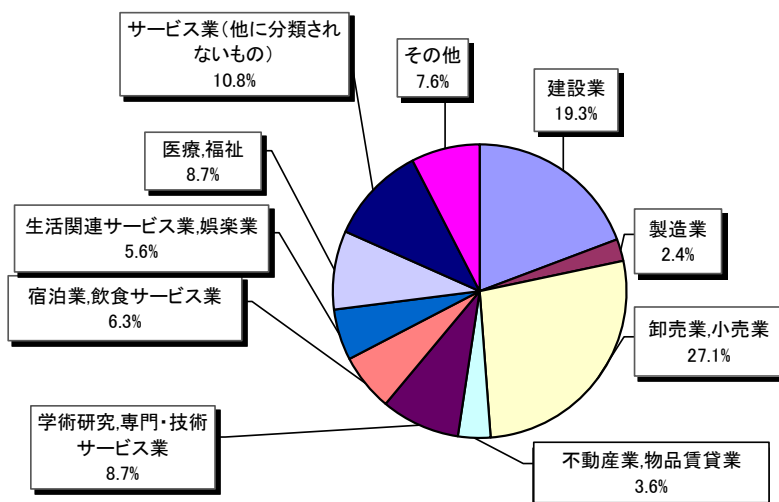
表IV-10 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模1~4人:全国)

区分	常用労働者数(千人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調査産業計	1,670	711	959	100.0	100.0	100.0	42.6	57.4
建設業	189	140	49	11.3	19.7	5.1	74.1	25.9
製造業	124	71	53	7.4	10.0	5.5	57.3	42.7
卸売業,小売業	429	179	250	25.7	25.2	26.1	41.7	58.3
不動産業,物品賃貸業	74	37	36	4.4	5.2	3.8	50.0	48.6
学術研究,専門・技術サービス業	110	42	69	6.6	5.9	7.2	38.2	62.7
宿泊業,飲食サービス業	152	46	106	9.1	6.5	11.1	30.3	69.7
生活関連サービス業,娯楽業	156	32	123	9.3	4.5	12.8	20.5	78.8
医療,福祉	165	26	139	9.9	3.7	14.5	15.8	84.2
サービス業(他に分類されないもの)	121	68	54	7.2	9.6	5.6	56.2	44.6

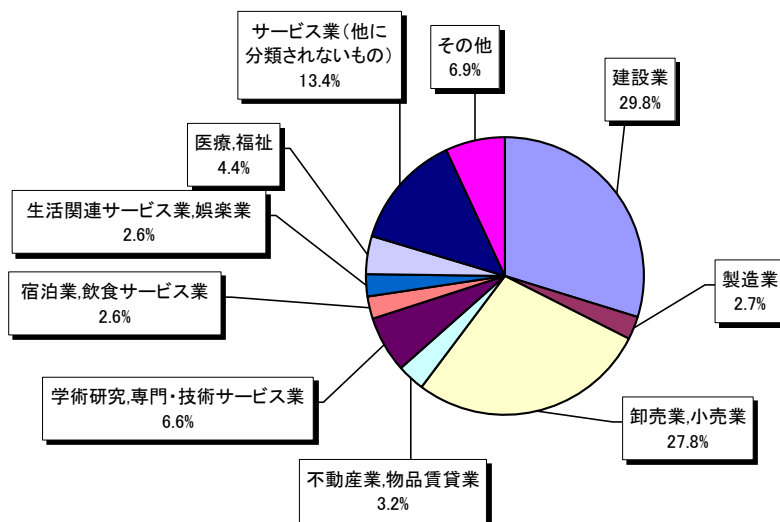
図IV-3 常用労働者の産業別女性の割合(事業所規模1~4人:青森県)



図IV-4 常用労働者の産業別構成比（総数）（事業所規模1～4人：青森県）



図IV-5 常用労働者の産業別構成比（男）（事業所規模1～4人：青森県）



図IV-6 常用労働者の産業別構成比（女）（事業所規模1～4人：青森県）

